



第52期 クラブスローガン

「慈愛に満ちた奉仕」



12/22 家族とともにクリスマス例会 我がゴットハンド隊



2/10~13
日本・フィリピン合同
医療奉仕活動

2016~2017年
ライオンズのスローガン (テーマ)
☆国際会長プログラム ボブ・コーリユー
『次なる山を目指して』
☆334複合地区スローガン
『100周年にウィ・サーブ つなげよう未来へ』
☆334-E地区 地区ガバナーズスローガン
獅子魂よ 永遠なれ! Lion's Spirit Forever!
「百年の力」より強く より高く 新たなる改革を



2/18 街頭献血運動・献血サーブデイ

長野中央ライオンズクラブ

URL <http://nagano-chuo-lions.logos.jp>

例会ニュース

12月第一例会 《会員スピーチ例会》

12月8日(木)18:30

会員・会員増強(GMT)・家族会員(FWT)委員長 L.有賀 良和



L.小林学



L.小林旭



L.田中



L.伊藤



L.浅妻



L.坪根

我がクラブでも、会員の増強が大きな課題となっている中ではありますが、前期51期と今期52期は多くの新入会員が入会されております。今回の例会は、前期と今期で入会の新入会員の中から、6名の会員によるスピーチを企画いたしました。入会したばかりで、会員の前で話をするのが慣れていないメンバーもありましたが、緊張の面持ちながら、それぞれの持ち時間約4分間、精一杯のスピーチをしてもらえたと思います。

スピーチの内容は、趣味のこと家族のことを含む自己紹介、仕事の内容、ライオンズクラブ活動に関してなど、思い思いにお話いただきました。

新しいメンバーのパワーと独特の個性を感じることができた例会となりました。今後の活動の中で、存分に活躍されることを祈念いたします。

——スピーチしたライオン(スピーチ順)——

- ・L.小林 学……2016年7月入会
- ・L.小林旭洋……2016年7月入会
- ・L.田中博明……2016年1月入会
- ・L.伊藤 博……2016年1月入会
- ・L.浅妻 豊……2016年7月入会
- ・L.坪根正晃……2016年1月入会



12月 誕生ライオン

新人会員のための

知っておきたいライオンズ用語・略語

ライオンズの活動の中で良く出てくる用語や略語は意味を確認し、理解を深めましょう！

■そもそもライオンズ(Lions)とは・・・

「ライオンズ・ヒム」の歌詞にもある、ライオンズクラブ国際協会のスローガン「Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety (自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)」の頭文字を取ったもの。

■アクティビティ(Service Activity)

ライオンズクラブが、その地域社会などに対して行うあらゆる奉仕活動のこと。

クラブが単独で行うのが基本であるが、地域社会の情報化に伴い、いくつかのクラブが合同で、あるいは他の奉仕団体や地方自治体と合同で行なったり、地区単位で行なう場合がある。

アクティビティは、クラブ存立の根幹にかかわる問題である。各クラブは地域の人々から共感を得られるような、すぐれたアクティビティを実施するために日夜精進している。

(ライオンズ必携 2016-2017 より抜粋)

■ライオンズクエスト・プログラム(Lions Quest Program)

薬物乱用防止を含めた青少年健全育成のための教育支援プログラムのこと。

1984年にクエスト・インターナショナルとライオンズクラブ国際協会が共同で開発し、現在はLCIF(ライオンズクラブ国際財団)がすべての権利を所有している。プログラムは3種類あり、日本語版は小学校低学年用の「小学生版」と小学校高学年・中学生用の「思春期版」が開発され、NPO法人青少年育成支援フォーラム(JIYD)が運営している。最新情報は、<http://www.jiyd.org>のウェブサイトに掲載されている。

(ライオンズ必携 2016-2017 より抜粋)

なお、当クラブより、L.中島しず枝が2R青少年・ライオンズクエスト・レオ薬物乱用防止委員に就任予定です(2017年7月より)。

例会ニュース

12月第二例会 《家族とともにクリスマス例会》

12月22日(木) 18:30

YCE・青少年指導・LCIF委員長 L.徳武 好春



クリスマス例会に先立ち行われた、
新入会員の小山卓延さんの入会式

平成28年も残りわずか、皆が笑顔で1年を終われるように、全員参加型の例会にしたいと考えておりました。また、「事業委員会の活動が即ちクラブそのものを活性化に導く」との運営方針のもと、この『家族とともにクリスマス例会』も大きな役割があると感じておりました。会員各位の年代の差が大きくなっていく傾向の中、お互いの絆を深める場になればという思いもありました。

そんな折、『ダンススタジオブロードウェイ・ジュニアチーム』が日頃の成果の場を探しているとの情報をいただき、委員会の目標でもある「健全なる青少年育成」の活動とも捉えられたので、例会のオープニングセレモニーとして、

ダンスの披露をお願いしました。ジュニアチームの熱い心、輝いている目、躍動感あるキレイなダンスに参加者一同釘付けになりました。一部の会員もダンスに参加できる演出もご用意いただき、大盛り上がりのオープニングとなりました。ダンスを堪能したあとは、いつも和装がお似合いのL.若林前会長のウィーサーブでレオ、御家族の皆様といっしょのクリスマス会がスタートしました。



ラッパ&スター

当クラブ内でも楽器を趣味にされているライオンが大勢いらして、「どこかで皆で演奏できる機会があれば……」との話も出ており、それならこの例会が良いのでは？という私の提案に今回参加のメンバー皆が快く賛同してくれました。

当日は、皆忙しい中何カ月も練習した成果がいかに発揮され、会場の皆様から大きな拍手、歓声、アンコールをいただいたときには、皆で頑張ったことの達成感、一体感を得ることができました。「最初で最後か？長野中央ライオンズクラブ有志結成」と謳いましたが、参加メンバーは今後も機会があればまた挑戦したい気持ちでいるようです。

全員参加型の例会を目指す中で、パートナー、レオ、御家族の方も参加できる場が必要と考えていたところ、単純であります但クイズを思いつきました。さらにただのクイズでは芸がないので、サンタクロースに掛けて三択（サンタク）クイズとしてみました。問題も誰もが解るがなぜか悩んでしまうような単純なものをピックアップしたつもりです。クイズが始まると、皆様真剣になって問題を聴いて悩んで、間違えれば頭を抱えて悔しがり、正解すればガッツポーズまで出るなど、意外なまでに大盛況となり、こちらも企画側としてもたいへんうれしく思いました。

笑うことを忘れてしまう多忙の日々の中で、私自身も含め短時間でも楽しめた時間が作れたこと、「一体感って大切だな」と思わせてくれた有志ライオンの皆様、並び御協力いただきましたすべてのライオン、パートナー、レオ、御家族の皆様方に心より感謝申し上げます。「厳しさの中にも楽しみがある魅力あるクラブ」を今後も構築していけるようクラブ全員で行動していければ幸いです。ありがとうございました。



例会ニュース

1月第一例会 《ライオンズクラブ国際協会334-E地区2R 新年合同例会》

1月13日(金)15:30～18:30

指導力育成(GLT)、会則付則、友好親善・接待・大会・会員厚生委員長 L.和田 正彦



■ 会場準備・リハーサル 11:00～14:30

5年ぶりにホストクラブを務める今回の2R新年合同例会、L.北村会長を本部長とする組織（役割分担表）と実施要項を作成し、万全の体制で当日を迎えました。統括責任者であるL.三浦第三副会長のもと、「受付・合同例会部会」、「来賓・接待・合同祝賀会部会」に分かれて、準備が着々と進んでいきます。司会、挨拶のリハーサルも丹念に行われ、準備を始めてから約3時間半、あっという間にお客様を迎える時間となりました。

なお、今回制作を担当した新年合同例会のパフレットは、これまでにあまり採用されていない黄色の地にしてみました。表紙に使用されている「瑞光」は、これもあまり使用されない言葉で「めでたい事のきざしである光」という意味であり、全般的には控え目な印象のパフレットに仕上がりました。

■ 合同例会 15:30～16:10

L.倉野幹事の司会で、定刻に合同例会が始まりました。阿部長野県知事、地区ガバナーはじめ多くの来賓の皆様をお迎えしていることもあり、来賓紹介を担当したL.駒津ライオンテマーズの声からも緊迫した厳かな空気を感じられます。L.北村会長の挨拶、長野ライオンズクラブの名誉会員として在籍されるL.阿部長野県知事からのご祝辞、334-E地区ガバナーL.武田善彦の年頭の言葉と、滞りなく進行し、万全の事前準備の甲斐もあり、無事例会を終了することができました。

毎年恒例の2R新年合同例会は、1年の中でも大きなイベントであり、今回も約370名の登録をいただき、15クラブのライオンが一同に会する光景は



来賓各位様



L.北村会長



壮観でありました。皆様のご挨拶からも、地域におけるライオンズクラブへの期待が大きいことをあらためて感じる事ができ、年頭に当たって気を引き締めて、日頃の活動に取り組む決意ができました。



L.阿部知事



L.武田地区ガバナー

■ 祝賀会 16:30～18:30

緊迫した空気が流れた合同例会から一転、皆様お待ちかねの祝賀会の席となりました。司会の重責は、着物姿がよくお似合いのL.中島しず枝に託されました。

祝宴の前には、アトラクションとして「川島亜子 サクソフォンミニコンサート」が行われ、川島亜子さんのサクソフォンと川崎龍さんのピアノの息の合った見事な演奏を楽しみました。

祝宴は、L.三浦第三副会長の開宴の挨拶で始まり、2Rの仲間の交流を深める有効な場となりました。最後は地区ガバナーL.武田を中心に豪快な「ライオンズローア」、L.返町とも子をソングリーダーとする全員参加の「また会う日まで」、L.中城第一副会長の閉会の挨拶で幕を閉じました。皆様、1日お疲れ様でした。



例会ニュース

1月第二例会 《健康を考える例会》

1月26日(木) 18:30

市民奉仕・環境保全委員長 L.小林 一彦

「改正労働安全衛生法」に基づく、職場における『健康ストレスチェック制度』が各職場（労働者50人以上の事業所）に義務付けられたことから、企業として社員の健康面、特にメンタルヘルスに気を配っていくことが求められる時代となりました。最近では、大手企業の社員が長時間労働からのうつ病、自殺という大きなニュースも報道され、新聞等でも連日数々の事例が取り上げられています。

今回の例会は、当クラブの第三副会長で医師のL.三浦靖雄先生を講師に、「知っていますか？『ストレスチェック』」と題した健康を考える例会を企画しました。三浦先生からは、

1. ストレスチェックのチェックのポイントは、「仕事のストレスの程度を本人が把握し、気付くこと」「事業者が高ストレス状況を把握し、職場環境改善につなげること」であること。
2. 「ストレスチェック制度」の具体的な運用方法としては、
 - 1) ストレスチェックとは何かを知ること
 - 2) ストレスチェックは何のためにやるかを理解すること
 - 3) 職業性ストレス簡易調査表（57項目）の実施について
 - ・労働者50人以上の事業者は、2015年12月1日から1年間で、すべての労働者に対して1回のストレスチェックの実施が必要。
 - ・ストレスチェックの評価によって、高ストレス者は医師の面接指導を受け、結果は企業には通知されず、本人に直接通知される。
 - ・企業が結果を入手するには本人の同意が必要であり、面接指導の結果を理由として、解雇、雇止め、退職勧奨等は禁止されている。

など、たいへん重要なお話をいただきました。本日は、この先の企業としての方針などの勉強をさせていただきましたことに感謝申し上げます。



「ドクター L.三浦」のわかりやすい講話



2R青年・ライオンズクエスト・レオ薬物乱用防止委員にL.中島しず枝
(2017年7月より予定)



1月 誕生ライオン

2月第一例会 《講演例会》

2月8日(水) 18:30

指導力育成(GLT)、会則付則、友好親善・接待・大会
・会員厚生委員長 L.和田 正彦

地元のプロスポーツを応援する気運が年々高まっていく昨今、今回の講演例会は、元AC長野パルセイロ・アスレチッククラブ代表取締役社長で元サッカー日本代表の丹羽洋介様をお招きし、長野市を拠点に2017年度よりFチャレンジリーグ参戦が決定しているフットサルチーム「ボアルース」に関するお話をお聞きしました。なお、丹羽洋介様は当クラブの元会員でもあり、多くのメンバーと懐かしい再会を果たされる中で、「ボアルース」への熱い思いを語っていただきました。

「ボアルース」は、今後長野市から羽ばたいていこうとしているフットサルチーム。私たちもできる限り応援していきたいと思います。

【フットサルチーム 「ボアルース」 プロフィール】

- 長野市を拠点に、2017年度よりFチャレンジリーグ参戦、また北信越フットサルリーグにも所属し、日本フットサルリーグ(Fリーグ)参入を目指し活動しているフットサルクラブ。2011年度発足。同年の長野県フットサルリーグで優勝。北信越フットサルリーグに昇格。2014年度、チーム名称を「ボアルース長野フットサルクラブ」に改名。
- 2015年度、北信越フットサルリーグ初優勝。F地域チャンピオンズリーグ(全国大会)出場権を獲得。全日本フットサル選手権北信越大会に優勝。本大会(全国大会)出場権を獲得。
- 2016年度Fリーグ入りを目指して、株式会社ボアルース長野フットサルクラブ設立。
- 2017年度よりFチャレンジリーグへの参戦が決定。

★チーム名の「BOALUZ」は、BOA(good)LUZ(光)を合わせた造語。皆に善い光が射しますようにという願いが込められている。

ボアルースHP(<http://boaluz-nagano.com/>)より



丹羽洋介様の熱のこもったお話



2月 誕生ライオン

例会ニュース

2月第二例会 《企業訪問例会》

2月23日(木) 12:00

PR・情報・記録保存・会報・IT委員長 L.竹内 伊吉



■ 企業訪問例会 13:00 ~ 14:00

本日の企業訪問例会は、信濃毎日新聞社長野本社の見学を企画しました。多くの長野県民に親しまれ購読されている「信濃毎日新聞」は、1873年（明治6年）に「長野新報」として創刊されて以来、現在まで140年以上に休まず発行されてきたそうです。

展示フロアでは、歴代の取材用力カメラやこれまでの主要紙面、新聞の制作工程の変遷などをご説明いただき、長い歴史を感じることができました。編集局では、取材部門、整理部門など、重要な役割を負ったそれぞれの部門がうまく連携して、24時間体制で新聞の紙面制作を行っている様子を垣間見ることができました。これからも、信濃毎日新聞社が発展され、地域に確かな情報が配信されることを祈念いたします。本日はありがとうございました。



■ 故L.小野常三 追悼式 12:00 ~ 12:30

企業訪問例会に先立ち、44年に亘り活躍され、1月11日に逝去された故L.小野常三の追悼式が開催されました。L.北村会長のご挨拶のあと、康楽寺住職 L.海野正信の読経の中、役員八役による献花が行われました。続いて会員を代表してL.上野仁より、お別れの言葉が捧げられ、出席会員各位が故L.小野常三との思い出にひたり、悲しみを新たにしました。

最後に、ご子息様の小野公人様より御礼のご挨拶をいただき、小野様には「334-E 地区会員共済給付金」が贈呈されましたが、全額寄贈いただきました。ありがとうございました。

故L.小野常三のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

L.小野常三 お別れの言葉

平成29年1月11日ご逝去

L.小野常三のご逝去を偲び、謹んでお別れのご挨拶を申し上げます。

L.小野常三は、1973年にL.渡辺久雄のスポンサーにて入会され、44年間に亘り、我が長野中央ライオンズクラブの指導者の立場で、「何事もクラブのために」との思いで奉仕活動をモットーとしてご活躍されました。メンバーといつも笑顔で交流する傍ら、善良なる生活を楽しみ、常に微笑をたたえ、人を愛し、人を敬う心を持続され、まさに「ライオンと呼ばれる人」でありました。クラブ内の趣味の会には毎回出席され、にぎやかな雰囲気づくりをされており、二次会では必ずカラオケを楽しんでおられました。いつもお元気で、体調が悪いくなど聞いたことがありませんでしたので、1月11日の訃報には茫然といたしました。お元気な笑顔が今も目に浮かんでまいります。どうか安らかにお休みください。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



合掌 L.上野 仁

アクティビティレポート

日本・フィリピン合同医療奉仕活動
2月10日(金)～2月13日(月)

日本・フィリピン合同医療奉仕活動実行委員
L.有賀 良和



活動の場所(私たちは、B班に所属)



活動実績報告(受診者数)

	内科/INTERNAL	外科/EXTERNAL	眼科/EYE	小計/SUBTOTAL
1日目(2/11) 1st DAY (A/B)	1,211	398	841	2,450
マリキナシティ/Marikina City				
2日目(2/12) 2nd DAY (A/B)	1,338	207	573	2,118
アンヘレス/Angels - Rizal				
2日間合計/2 days total	2,549	605	1,414	4,568
1日目(2/11) 1st DAY (A/B)	972	277	418	1,667
ディナ lupihan/Dinalupihan - Bataan				
2日目(2/12) 2nd DAY (A/B)	1,020	288	693	2,001
コモンウェルス/COMMONWEALTH - QC				
2日間合計/2 days total	1,992	565	1,111	3,668
総合計	4,541	1,170	2,525	8,236



街頭献血運動・献血サーブデー

2月18日(土)9:30～16:00 視覚障がい者福祉・四献推進委員長 L.小林 博

ときどき暖かい日もあり少々春めいてきたとはいえ、まだまだ冬の寒さが残る2月の中旬の土曜日、長野駅前にて会員23名の参加をいただき、「街頭献血運動・献血サーブデー」を実施いたしました。参加の会員は、防寒対策を万全にして、朝9時半にながの東急百貨店 第一駐車場に集合。長野県赤十字血液センターの仁科係長様よりお話しをお聞きしたあと、長野駅前・二線路通りを中心に、献血PR用のティッシュを配りながら献血の呼びかけを行いました。

午前中は、寒さを厳しい中でもあり人通りは少なめでしたが、ガールスカウトの皆様にもご支援をいただき、お昼までには予定していた数量のティッシュの配布を完了することができました。だいが気温も上がってきた午後は、献血のプラカードを持ちながら、献血車付近での呼びかけに徹しました。

寒い中ではありましたが、「400ml献血 22名」の実績となりました。ご協力、ありがとうございました。



新入会員



L. 小山 卓延
(たかのぶ)
ネクストリンクス(株)
スポンサー
L. 上野 仁
所属委員会
出席委員会

ドネーション

11月24日(第二例会)

再掲載

L. 三浦靖雄 10,000円
長野県教育委員会より、30年間学校医を務めたことに対して「学校保健功労表彰」を受けました。(コメントが未掲載でした)

12月8日(第一例会)

L. 村上義徳 5,000円
小笠原神社氏子総代無事退任しました。これからは、顧問として頑張ります。

L. 関谷 登 5,000円
資金獲得事業、ご協力お願いいたします。

L. 小林一彦 5,000円
11/29 信毎北信欄に大きく取り上げられ、報道の栄を受けました。ありがとうございます。

L. 上野 仁 3,000円
誕生祝い、ありがとうございます。

L. 北村健一 5,000円
誕生祝い、ありがとうございました。

L. 松本節子 2,000円
誕生祝い、ありがとうございました。

L. 有賀良和 3,000円
本日の「会員スピーチ例会」、6名の皆さまご苦勞様でした。会社のほうも皆さまのおかげで12/18に50年を迎えることになります。

L. 渋谷一男 100,000円
このたびのご支援、ありがとうございました。

合計 128,000円

12月22日(第二例会)

L. 若林秀幸 10,000円
深谷市の老人ホームが完成し、オープンできました。ありがとうございます。

L. 返町とも子 3,000円
楽しいX'masをありがとうございます。

L. 北村健一 10,000円
楽しいクリスマス、役員さんご苦勞様です。

L. 上田正昭 5,000円
担当委員会(YCE・青少年指導・LCIF委員会)の皆さんに御礼。

L. 小林久次郎 1,000円
バッチ代として

L. 鹿熊 彰 1,000円
事務局写真代として

★お花のドネーション代 43,300円

合計 73,300円

1月26日(第二例会)

L. 三浦靖雄 10,000円
ストレスチェック講演の場を与えていただき、ありがとうございました。

L. 北村健一 10,000円
新年合同例会、皆さまに支えられまして、大成功ありがとうございました。

L. 三浦靖雄 5,000円
新年合同例会、盛会に終了しました。ご協力ありがとうございました。

L. 駒津 敏 5,000円
誕生祝い、ありがとうございます。

L. 倉野立人 3,000円
議会の出張のため、欠席となってしまいました。ご迷惑をお掛けしました。

合計 33,000円

2月8日(第一例会)

L. 和田正彦 5,000円
新年合同例会、委員長でありながら欠席してしまい、申し訳ございません。北村会長、倉野幹事、祝宴司会の中島しず枝さんのおかげで、無事終了いたしました。皆さま本当にありがとうございます。大金をドネーションしたいと思います。

L. 有賀良和 2,000円
JMM壮行会、ありがとうございました。幹事と一緒に奉仕活動、頑張ってきます。

L. 小林久次郎 3,000円
誕生日お祝い、ありがとうございます。

L. 吉野荘英 3,000円
誕生日お祝い、ありがとうございます。

L. 野田正廣 3,000円
誕生日お祝い、ありがとうございます。

合計 16,000円

2月23日(第二例会)

L. 有賀良和 20,000円
JMM(日本・フィリピン合同医療奉仕活動)のミッション、無事に終了してきました。皆さまのご協力、ありがとうございました。

L. 倉野立人 20,000円
JMM、無事に行ってまいりました。

L. 若林秀幸 3,000円
誕生日祝い、ありがとうございます。

L. 返町とも子 3,000円
故小野ライオン、どうぞ中央ライオンズクラブを見守っててください。

L. 北村健一 10,000円
故小野ライオン追悼式、ありがとうございました。

故 L. 小野常三(ご子息の公人様より) 192,000円
追悼式を催していただき、ありがとうございました。

合計 248,000円



編集後記

今号会報298号は、記事の対象期間は12月～2月まで3ヶ月間と月数は少なかったのですが、工夫を凝らした企画が大盛況だった12月のクリスマス例会、5年ぶりにホストクラブを務めた1月の新年合同例会、故 L. 小野常三の追悼例会となった2月の第二例会など、例会だけでも盛りだくさんの記事内容となりました。さらにフィリピン合同医療奉仕活動等のアクティビティ報告も含めると、増ページの対応が必要と判断し、前号同様に今号も8頁の構成といたしました。

会報発行も後一回と成りましたが、例会、アクティビティの様子をできるかぎりリアルにお伝えしたいと思っておりますので、皆様の情報提供、並びに担当委員長さんの例会レポートの提供をよろしく願います。

編集委員長 L. 竹内 伊吉

〔会報第298号〕

2017年2月28日

長野中央ライオンズクラブ

PR・情報・記録保存・会報・IT委員会

L. 竹内 伊吉

長野市妻科426-1

長野県建築士会館6階

☎ 026 (235) 3988

<http://nagano-chuo-lions.logos.jp>